

# ゼロカーボンシティの実現に向けた 地方公共団体意見交換会

## 趣旨説明

# 今日の目的

- **ゼロカーボンシティ**を表明した自治体の担当者を対象に、**それぞれの地域に合った方法**で取組を進める糸口を見出して頂くことを目的として、意見交換会を開催。
- 先行して取組を進めている自治体の事例の共有から、**脱炭素の取組のはじめの一步**について考え、参加自治体、地方環境事務所、EPO等と継続して相談出来る関係づくりを目指す。



企画をした理由

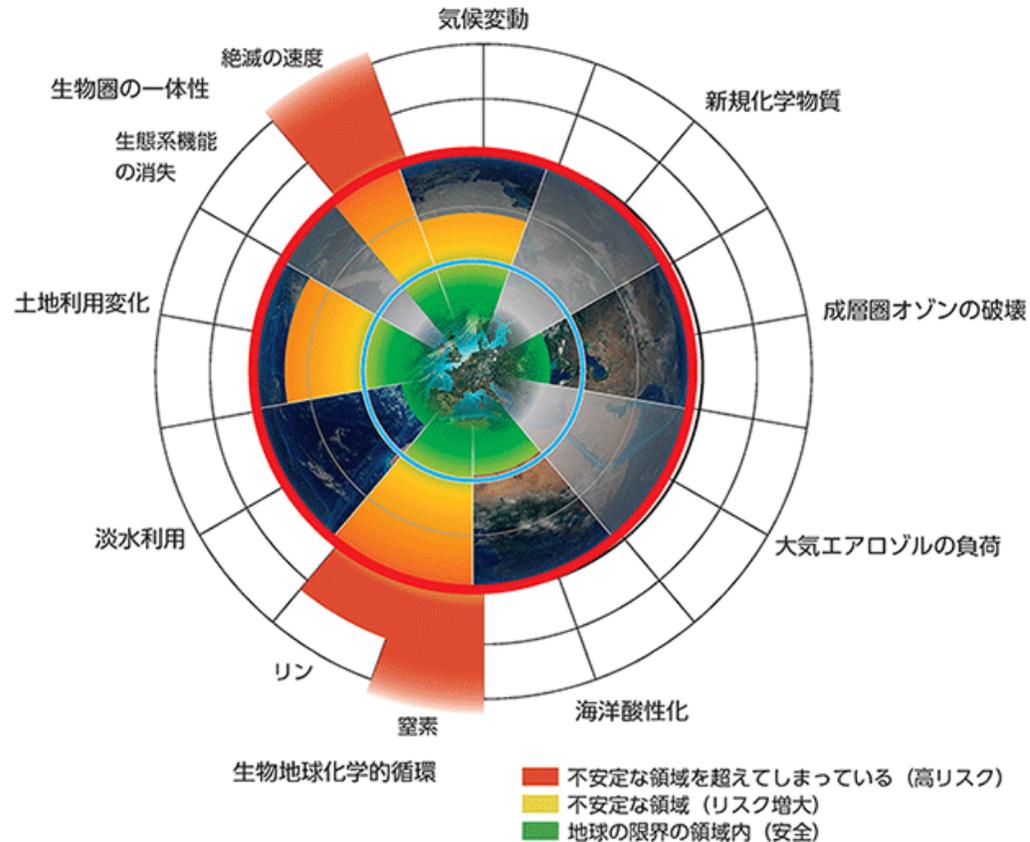
**前提1 人類の暮らしが危機を迎えている**

# 前提1 人類の暮らしが危機を迎えている

※地球の危機ではない

## 世界的なレベルでの課題

図1-1-1 地球の限界（プラネタリー・バウンダリー）による地球の状況



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

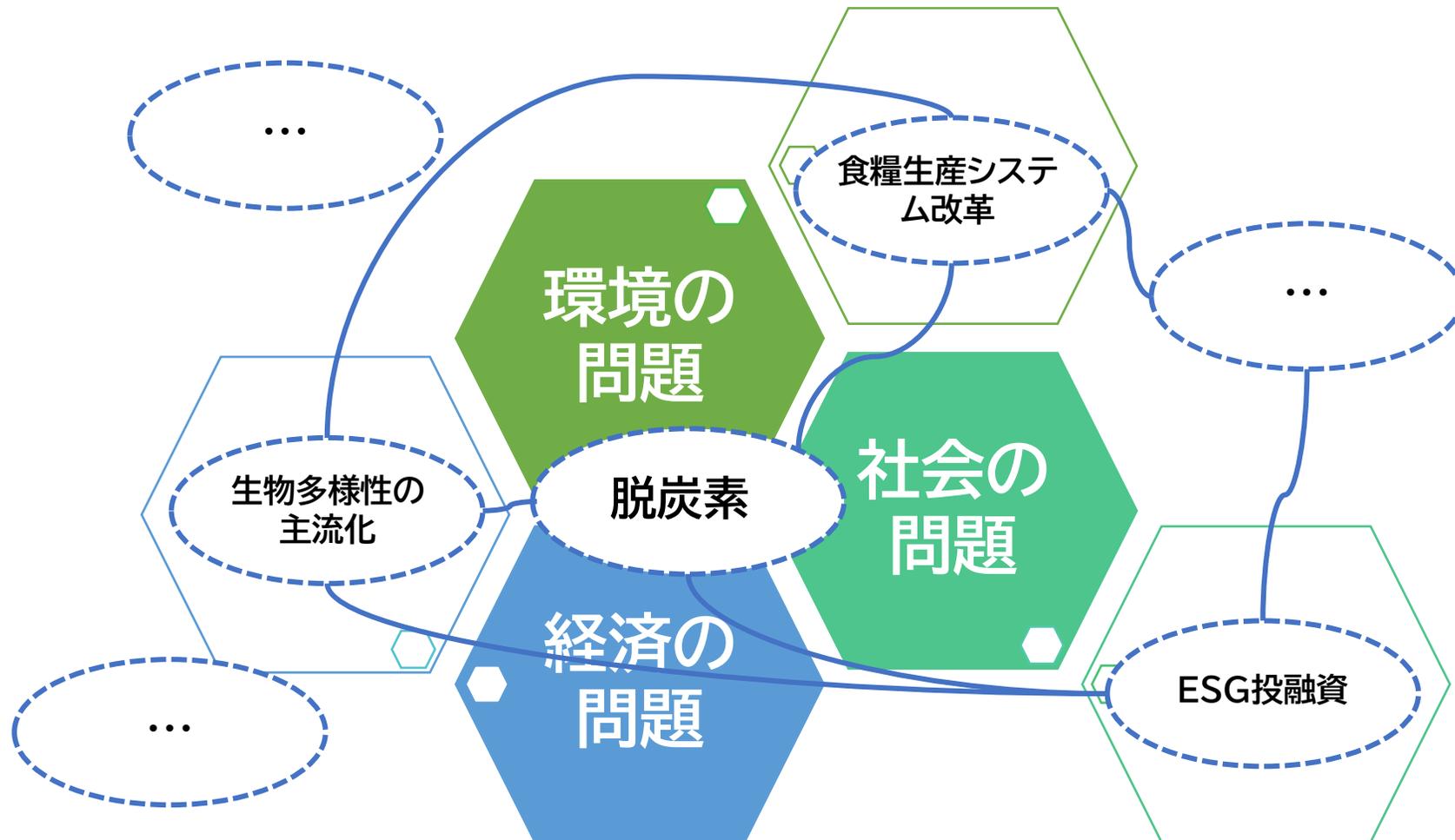


資料：Will Steffen et al. [Guiding human development on a changing planet]

# 前提1 人類の暮らしが危機を迎えている

## 国内レベルでの課題

SDGsがあってもなくても、地域の課題は複雑に絡み合っている



# 人類が地球上で暮らしを営み続けるために…

目的

豊かに、幸せに、  
人間が地球上で生活を営み続ける！  
(持続可能な社会の実現)

SDGs

地域循環共生圏

たとえば

仮説

脱炭素

生物多様性の  
主流化

ESG投融資

食糧生産システ  
ム改革

…

Etc.

“持続可能な社会”のために、実現する必要があるだろう、と今の人類が考えていること

そのためにそれぞれの地域・分野で取り組むべきこと

**前提2 これまでのやり方を見直すタイミングが来ている**

# Transforming our world.

私たちの世界を変革する



**背景1 各地域での取り組みが求められている**

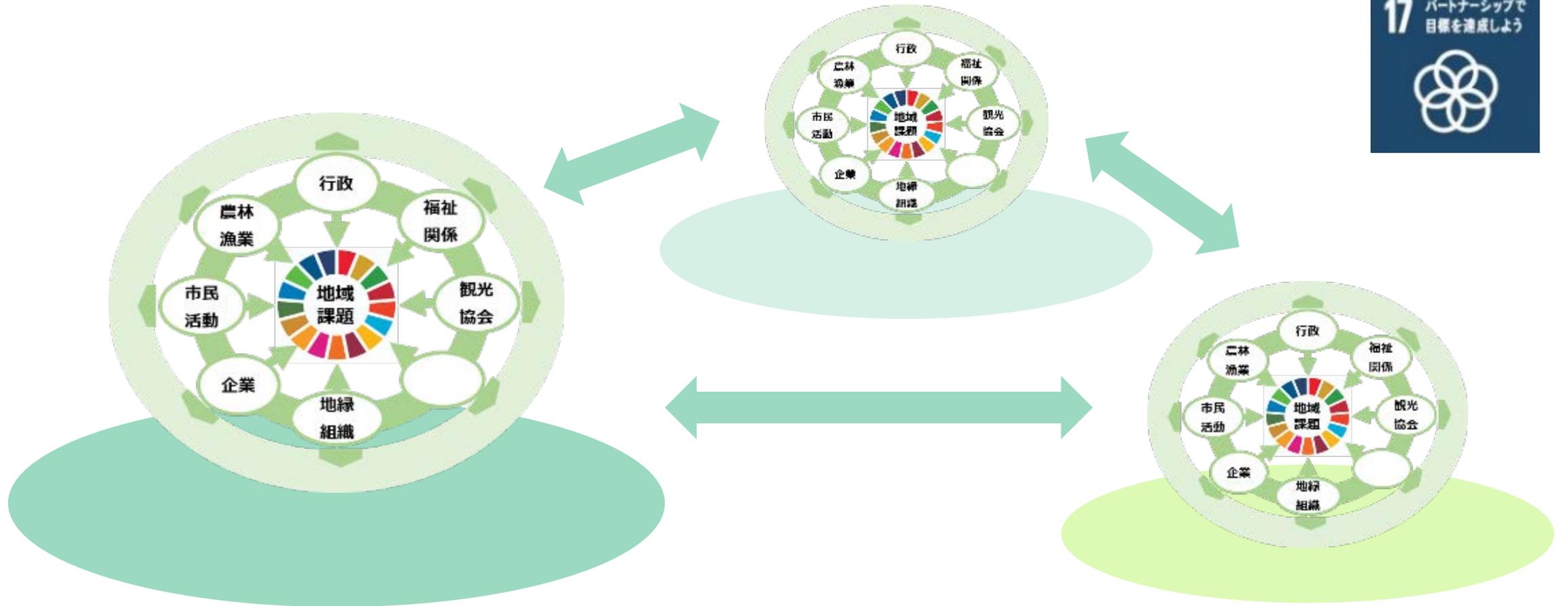






**背景2 多様な協働・パートナーシップが求められている**

# セクター同士・世代間・域内-域外 …のパートナーシップ



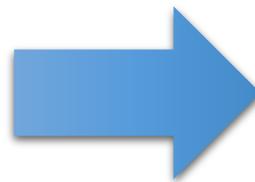
## 現状

あまりに課題が多すぎて、  
どこからどうしていいかわからない・・・

# 脱炭素に関する取り組みアンケートから読み取れること

地域で脱炭素に取り組むためのハードルが、大きく分けて**5つ**見えてきました。

- ① お金がない
- ② 人がいない
- ③ 意識が変わらない  
(住民・事業者・職員)
- ④ 庁内が連携できない
- ⑤ 地域に資源がない



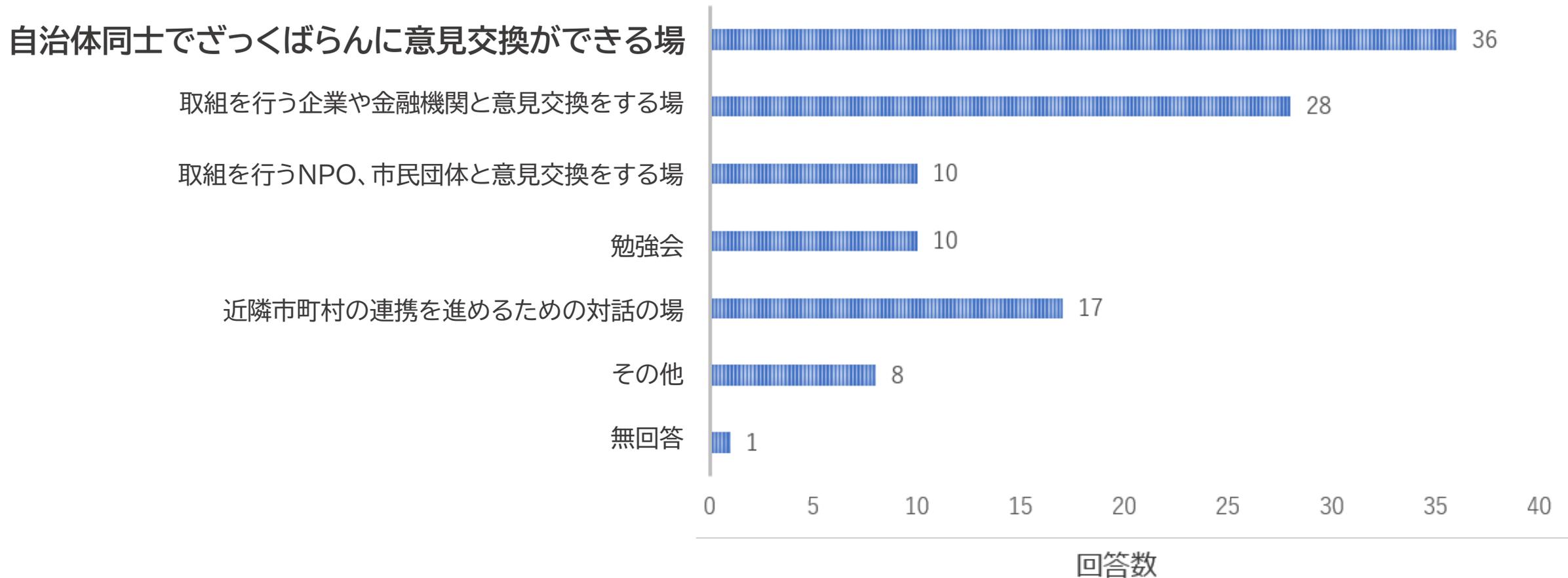
つまり、多くの自治体が…

どこから取り掛かればいいのかわからない…

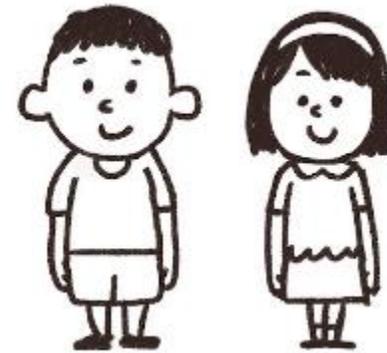
どうしたら良いのか教えてほしい!

と、思っているようでした。

## Q. 脱炭素の取り組みの具体化に向けて、どのような機会が必要だと思いますか。(複数回答可)



ということで、  
今日のお願い



# お願いしたいこと

## □思ったことをメモしてください

事例やディスカッションを通じて、質問や、共感したことなど、自分のために、メモをしてください。

## □“あなたの”はじめての一步を考えてください

今日のディスカッションを通じて、持ち帰ってほしいのは、誰かや組織をどう変えるかではなくて、明日の「私」ができること、です。